



チームたかとか・はくれない

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -本校 校長たより⑫-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上 松 武

■日々の積み重ねの大切さ ～高等部3年生の修学旅行から～

- ・10月9日(木)から10日(金)の二泊三日、高等部3年生と寝食を共にしました。2日間の生徒たちの行動を見ていて、日々の小さな積み重ねの大切さをあらためて感じました。



↑ 富岩運河環水公園富山観光サイトより引用

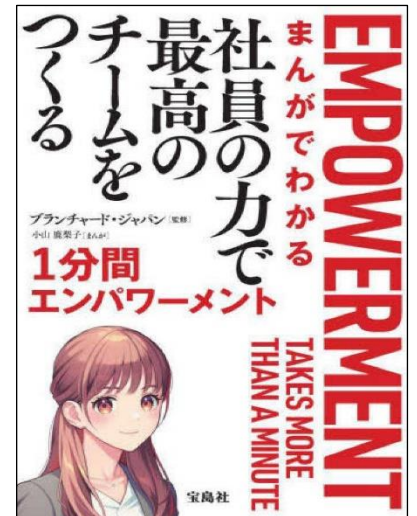
- ・宿泊先に滞在していた時のことです。男子生徒たちと大浴場で入浴をしていました。各々しっかりと体を洗っていたことに「日々の小さな積み重ね」を感じていましたが、さらに洗い終わった時、自分が使った蛇口や椅子をシャワーでサ～と洗い流し、桶と椅子を最初の状態に戻していました。見ていて、気持ちがいい行動でしたし、さすが最高学年だと感心しました。これは今の大人でもなかなかできないことです。きっと、家庭や寄宿舍の入浴場面で習慣化されているから、他の場面でもできたのだと思います。
- ・もう一つ感心したことがあります。宿泊先で朝食を終えた時のことです。どのグループもテーブルを拭いていました。なかなかできることではありません。今の大人でもあまり見かけません。この行動も食べ終えた場所はきれいにするということが習慣化されていることの証です。
- ・このような何気ない「日々の小さな積み重ね」が「いつでも、どんな時でも、誰に対しても」できることで、周りから感謝され、信頼されることにつながります。その結果、良好な人間関係を築くことができ、その人の人生そのものが豊かになっていくと私は考えています。
- ・高等部3年生を誇らしく思いました。そして、当校の先生方一人一人の日々の指導の積み重ねにあらためて頭の下がる想いです。ありがとうございます!

■同じ情報を共有することの大切さ ～ある先生との教職員面談から～

- ・今先生方との面談を行っています。10分という無理な時間設定で、十分にお話を聴くことができていると申し訳なく思っています。また、時間通りに面談が進まず、ご迷惑をお掛けしています。
- ・そんな中、ある先生との面談で「やっぱり、そうだよ」と自分自身の想いを強くさせていただいた場面がありました。
- ・その先生は、「今とても仕事がしやすいです。授業や行事などに関して、知らされていないことがないからです。毎日不安なく、見通しをもって仕事ができています。今の学年部の先生方に感謝です。」とお話しされていました。
- ・さらに「一人で児童生徒を担当しているのではなく、学年部の先生方みんなで指導支援に当たっているという実感があります。」とお話を続けられました。
- ・「情報共有」という言葉を至るところで頻繁に聞きます。私は、面談で伺った話の内容が

真の意味での「情報共有」であり、情報を共有しているという本当の姿だと考えています。

- ・何度も読み返している本の一冊に『まんがでわかる 社員の力で最高のチームをつくる 1 分間エンパワーメント (宝島社)』があります。この本には、社員のモチベーションを上げ、チームのパフォーマンスを高める方法が 3 つの鍵として述べられています (序文 4 ページ引用)。その 1 つ目の鍵が「全社員と正確な情報を共有する」ことです。
- ・当校の学校経営上、次のようなことがないようと思っていますが、実際はまだまだと自分の至らなさを感じています (学校に置き換えて読んでみてください)。
 - ー「全社員がもっとも知りたいと思っている情報は、「うちの会社はどれだけ儲かっているのか？」だと思いませんか? (中略) 不具合や問題は起きていないのか? 顧客からはどんなクレームが多いのか? そんな経営に関するあらゆる情報を現場の一人ひとりに公平に共有している会社など、滅多にないと思いますよ。」(57 ページ引用)
 - ー「友達や家族の人間関係で考えてみてください。「大事な情報を隠される」って、どんな気持ちですか?」「…邪魔者扱いされている気がします。力になりたいのに打ち明けてもらえなかったら、自分には何も求められていないと感じます。私は期待されていないと感じます。」(59 ページ引用)
- ・学級学年や学部全体、棟や寄宿舍全体で情報を共有し、上述した先生のような仕事のしやすさと安心感をお互いに感じられるチームづくりを心掛けていきましょう。



■分かりやすい評価とは ～個別の指導計画の評価から～

- ・前期が終わり、10 月 13 日 (月) から後期の教育活動が始まりました。
- ・今、前期の教育活動を評価して後期の目標と手立てを立てて起案していますが、具体的に分かりやすいと思った評価をいくつか記載します。

<例 1> 短期目標「朝の支度を 15 分間で行う。」

評価：8 時 25 分の登校後、「長い針が 8 までに着替えます。」と、教師と一緒に声に出して目標を確認し、取り組みました。周囲が気になり行動が進まない日には、パーテーションの中で着替えることで、週 5 日のうち 4 日ほど、15 分間で着替え終えることができるようになりました。

<例 2> 短期目標「『ニュースポーツ』のフラバールを、2 m 程度離れた相手に投げ、10 回程度パスを続ける。」

評価：教師と 1 m 程度離れた距離からパスのやりとりを繰り返すことで、相手に向かってパスする力加減が分かり、少しずつ距離を離しても、相手を意識しながら力を加減してフラバールを投げました。2 m 程離れた距離から友達と 20 回以上繰り返しパスを続けることができました。

<例 3> 短期目標

○働くために必要な能力や態度、基本的なマナーを身に付ける。

評価：仕事をする際に必要な挨拶や態度についての学習では、どのような場面であるかを把握すると、その後のロールプレイで上司役の教師に対し、「すみません、今よろしいでしょうか。」「教えていただき、ありがとうございました。」など適切にや

りとりをすることができました。

- ・ 3つの例のよい点は次の3点だと考えます。

- ①「15 分間」や「2 m程度離れた相手」「10 回程度パスを続ける」のように**基準がはっきりした目標設定**になっていること
- ②評価の文の構成が、「**〇〇の手立てを講じたら、□□になった**」のように、指導と評価が**一体化**になっていること
- ③「**□□になった**」の記述に**数値や経過、具体例**が含まれていること

- ・ 後期の目標設定や評価の参考にしてみてください。さらに、授業改善の視点として活用してみましょう。そのような変容や成果を導き出すための手立てを考えるようになると思います。

■元気をもらえる子どもたちからの贈り物 ～中学部1年生からのハロウィーンの飾り～

- ・ 先日、中学部1年生の生徒たちからハロウィーンの飾りをいただきました。お化けやコウモリ、クロネコにカボチャが一本のスズランテープに貼られている飾りです。
- ・ どの飾りも、表情豊かで愛らしく仕上がっています。生徒たちが作った作品を見ていると、元気をもらいます。笑顔になります。やさしい気持ちになります。一生懸命さが伝わってくるからなのでしょうね。いつもありがとうございます。
- ・ また、初めての場所に入ることがなかなかできない生徒が、初めての場所の校長室にちょっぴり入れたということも、とても嬉しかったですね。



■絵本の紹介

『くれよんのくろくん』 なかや みわ さく・え

内容紹介

天晴れなラストシーンに、子どもの頃の懐かしい気持ちがよみがえります。

くれよんのなかまたちは、次々と箱を飛び出して、真っ白な画用紙に絵を描き始めます。きいろくんはちょうちょを、あかさんとピンクちゃんは花を……。だけどくろくんだけは、きれいに描いた絵を黒くされてはたまらないと、なかまにいらしてもらえません。くろくんがさみしそうにしていると、シャープペン



のお兄さんがやってきて、くろくに秘策を授けます。

子どもにとってクレヨン特別な存在。仲間はずれになってしまったくろくんのせつない気持ちに共感し、そして迎えるハッピーエンドに安堵することでしょう。

大人は子どもの頃の気持ちをちょっぴり思い出すことが出来る、そんな素敵な作品です。

(絵本ナビホームページから)